

宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和4年度の実績(報告用)

I 評価の目的と方法

1. 評価の目的

宜野湾市では、令和3年度に「第二期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、まち・ひと・しごとの創生に取り組んでいる。計画の推進・検証にあたっては、PDCAサイクルを導入し、基本目標に係る数値目標や、具体的な施策に係る重要業績評価指標(KPI)の達成度を検証し、改善を行うこととしていることから、令和4年度におけるKPI指標に対する各施策・事業の進捗状況の把握、効果検証を行うことを目的に実施する。

2. 評価の方法

(1) 施策・事業の進捗状況の把握

各施策について担当課による調査票の記入及びヒアリングを行った。施策の進捗状況は、「A: 施策の目標を達成した」、「B: 目標達成に向け、順調に取り組んでいる」、「C: 目標達成に向け取り組んでいるが、一部未着手・改善点・課題がある」、「D: 取り組みの実施に向け、検討を進めている」、「E: 施策に取り組めていない(未着手)」の5段階評価で整理した。

図. 照会資料

第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略ヒアリングシート		所管課・室/係	産業政策課/〇〇係	担当者名			
基本目標	①魅力ある人材と産業を育成し安定した雇用を創出する	基本的方向	①魅力ある人材育成モデルの確立	関係する担当者の名前を記入してください。			
具体的な施策	主務課	施策の評価			担当者の所感及び評価	次年度以降に向けた見直し	連携課連携係
		具体的な取り組み内容	実施状況・達成できたこと	施策の評価①			
① 企業が求める人材育成の推進や働きやすい職場環境づくりの促進	産業政策課	多様な働き方就労支援、就職相談	ハローワークを運営し、相談件数が〇件あった。そのうち就職に繋がった件数は〇件で〇%となった。	2	〇〇の影響もあり、〇〇に十分に取組むことができなかった。 〇〇年度は、R6の〇〇を目標としていたが、〇〇が要因で未達成であった。	〇〇の影響にも考慮しつつ、〇〇と連携し、〇〇の方向性を考えていく。	〇〇課〇〇係
② 雇用の創出と就業支援の推進	産業政策課	具体的な施策に基づく取り組み内容を記入してください。	具体的な取り組み内容の実施状況について記入してください。	3	具体的な取り組み内容について、実施するうえで発生した課題や取組等について記入してください。	実施状況、課題、KPI達成状況等を踏まえた、見直し内容について記入してください。	連携する課や係があればその連携課・連携係を記入して下さい。

※1: 施策の評価 以下の5段階よりプルダウンで選択
 4: 施策の目標を達成した。
 3: 目標達成に向け、順調に取り組んでいる。
 2: 目標達成に向け取り組んでいるが、一部未着手・改善点・課題がある。
 1: 取り組みの実施に向け、検討を進めている。
 0: 施策に取り組めていない(未着手)。

左記の※1「施策の評価」を参考に、0～4までの数字をプルダウンで選択してください。

(2) 数値目標及び KPI 達成状況の評価

数値目標及び KPI については、可能な限り統一的な評価ができるよう、以下に示す基準で評価した。

表. 達成度評価の区分

達成度評価	判断の基準
4: 計画を達成	・現時点で、 目標値(R6) を達成したもの ・目標値(R6)に対する 実績値(R4) の割合が 100%以上 のもの
3: ほぼ計画通り	・ 年度毎の目標値(R4) を達成しているもの ・目標値(R6)に対する 実績値(R4) の割合が 50%～100%未満 のもの
2: 遅れている	・ 年度毎の目標値(R4) が 未達成 のもの ・目標値(R6)に対する 実績値(R4) の割合が 50%未満 のもの
1: 未着手	・実績(R3～R4)が無い(値が0)もの

II 効果検証結果

令和4年度における施策の進捗状況や数値目標及び KPI の達成状況を踏まえた、目標ごとの進捗は以下の通り。

■ 基本目標① 魅力ある人材と産業を育成し安定した雇用を創出する

(R6 数値目標)ふるさとハローワークを利用した市民の就業率: 毎年度の増加を目指す。

⇒ 達成度評価3(R3: 7.8%、R4: 9.3%)

基本的方向① 魅力ある人材育成モデルの確立

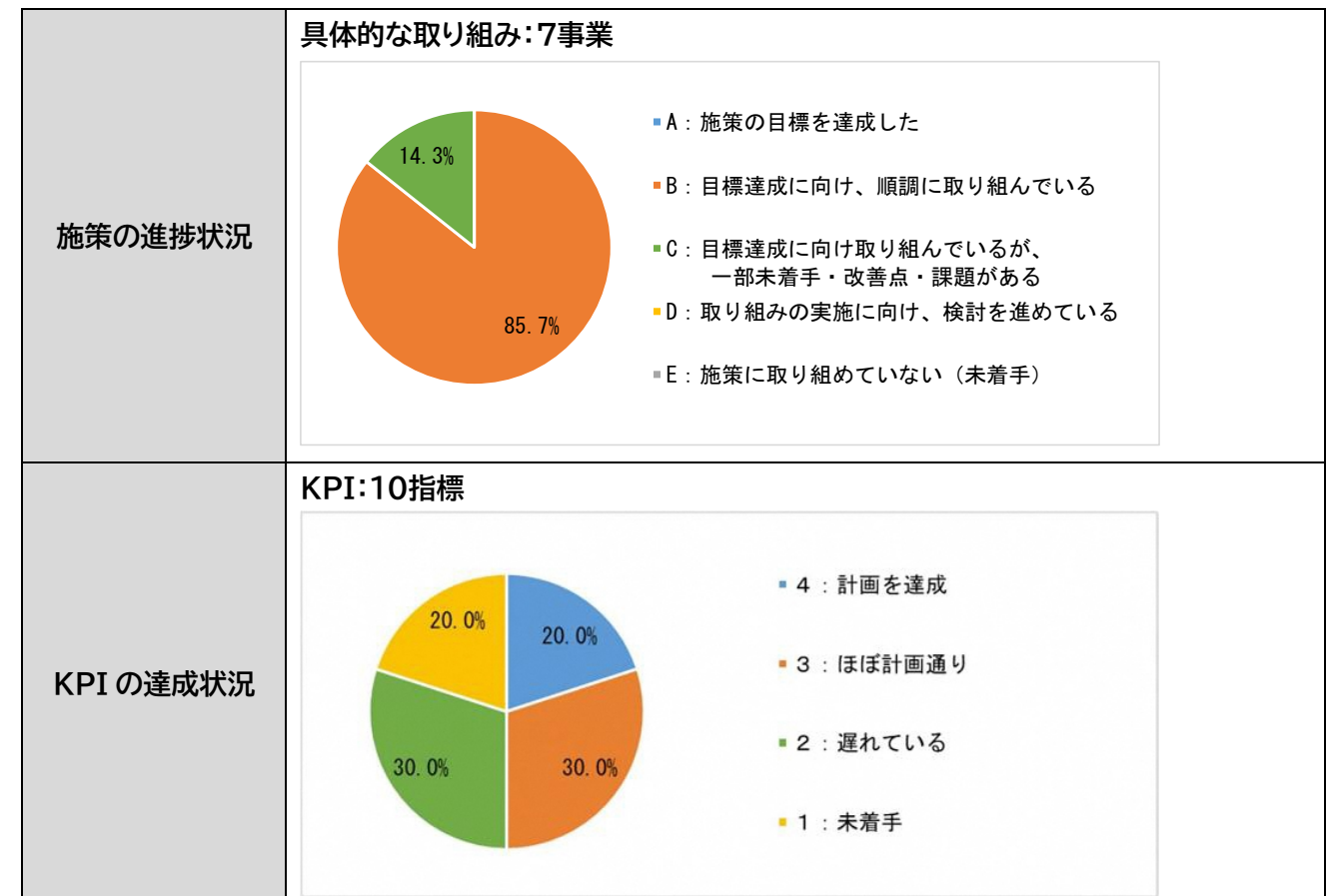
基本的方向② 人材が活躍できる産業の育成

・総括

- ・R6 数値目標の達成に向けて順調に取り組んでいる。
- ・具体的な取り組みは、新型コロナによる影響はあったものの、目標達成に向けて概ね順調に取り組んでいる。
- ・一方、新型コロナの影響により一部開催できなかった事業、講座等もあり、KPI の達成には届いていない項目もみられる。

⇒ 国際感覚豊かな人材育成について、中国廈門(アモイ)への留学生派遣は、新型コロナの影響により未実施であるが、国際交流に関して、語学講座やイベント等を再開し始めている状況。新型コロナによる影響がなくなり次第留学生派遣も実施する方針。(進捗状況: C、KPI 達成度: 1)

⇒ 情報通信関連事業所への支援として、インキュベーションブース(ワークスペース)及びインキュベーションオフィス10か所を整備している。利用状況は、ブース11社、オフィス10社で順調に取り組んでいるが、市内にインキュベーション施設退所後の受け皿がないことが課題であり、KPIの未達要因の1つとして考えられる。今後は、指定管理者との連携強化を図りながら、創業支援制度を活用した支援、オフィス入居等を進める方針。(進捗状況: B、KPI 達成度: 1)



■基本目標② 観光・コンベンションで多様な人との出会いと交流を促進する

(R6 数値目標)西海岸地域入域者数:250 万人⇒達成度評価2(R3:約 100 万人、R4:約 150 万人)

基本的方向①地域資源を活かした観光・交流の促進

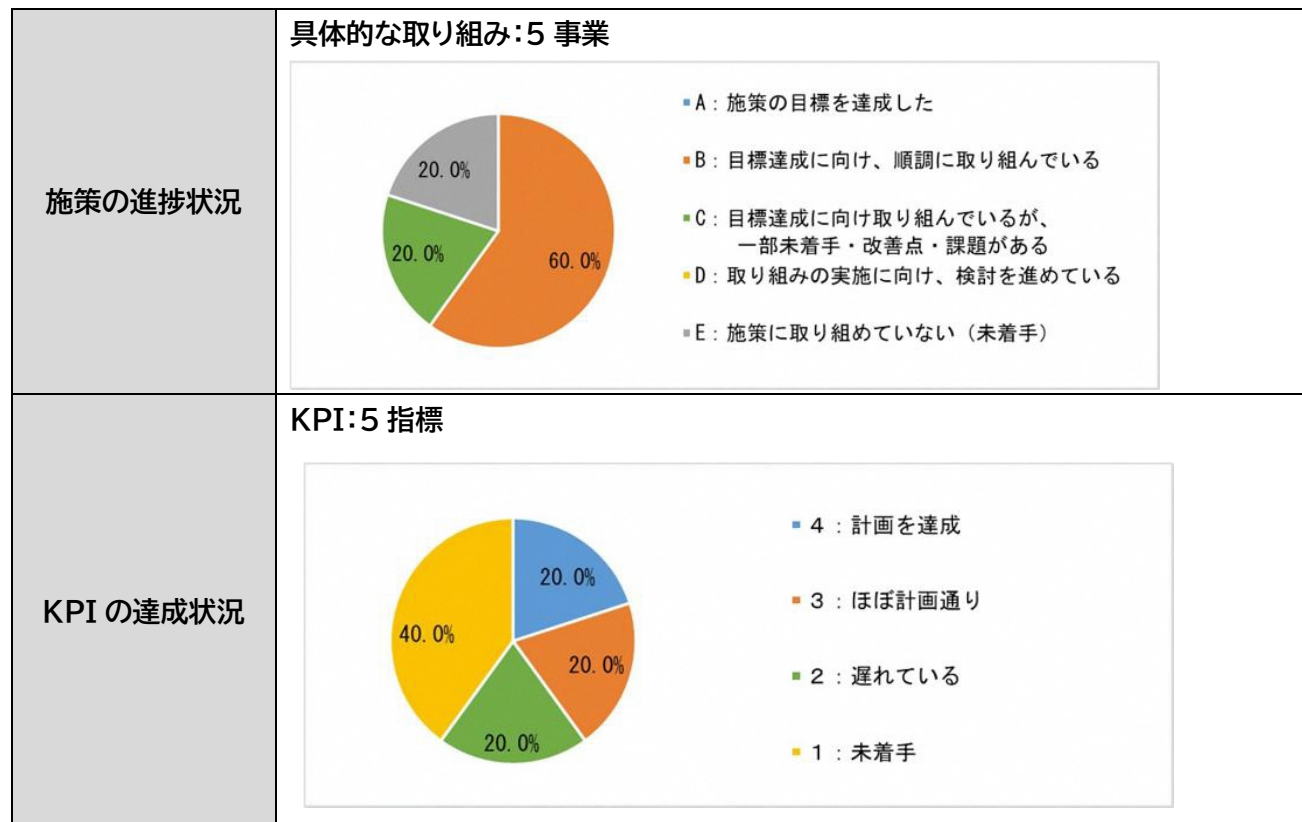
基本的方向②スポーツコンベンションの振興による交流機会の創出

・総括

- ・新型コロナによるイベント中止等の影響により、R6 数値目標の達成に向けては課題がある。
- ・地域資源を活かした観光・交流に関する取り組みは、新型コロナの影響によりはごろも祭りが中止になるなど、実施上の課題があった。スポーツコンベンションに関する取り組みは、概ね順調に進捗している。
- ・新型コロナによるイベント中止、施設の利用制限のほか、市の整備事業の都合でKPIの達成には届いていない項目もみられる。

⇒地域資源を活かした観光・交流の促進について、屋外劇場の機能拡張整備事業の実施に伴い、コンサートが開催できなかったことが、KPI未達の要因となっている。事業完了後、コンサートの開催を再開する予定。(進捗状況:E、KPI 達成度:1)

⇒各種スポーツキャンプ・大会の誘致・受入態勢の強化について、ジャパンウインターリーグの実施により、スポーツキャンプ・大会開催による来場者数の目標を達成できた。一方、コロナが落ち着いてきたこともあってイベント開催に関する相談等が増えてきている中、すべての受け入れが難しい状況もあり、今後の課題となっている。(進捗状況B:、KPI 達成度:4)



■基本目標③ 市民の希望実現に向け安心して結婚・出産・子育てができる環境を整える

(R6 数値目標)保育施設の待機児童数:0 人⇒達成度評価3(R3:35 人、R4:33 人)

放課後児童クラブの待機児童数:0 人⇒達成度評価3(R3:45 人、R4:26 人)

基本的方向①教育・保育と子育て支援の質の向上と安定的な供給

基本的方向②健やかで切れ目のない子どもの成長支援

基本的方向③子育てしやすい社会環境の整備

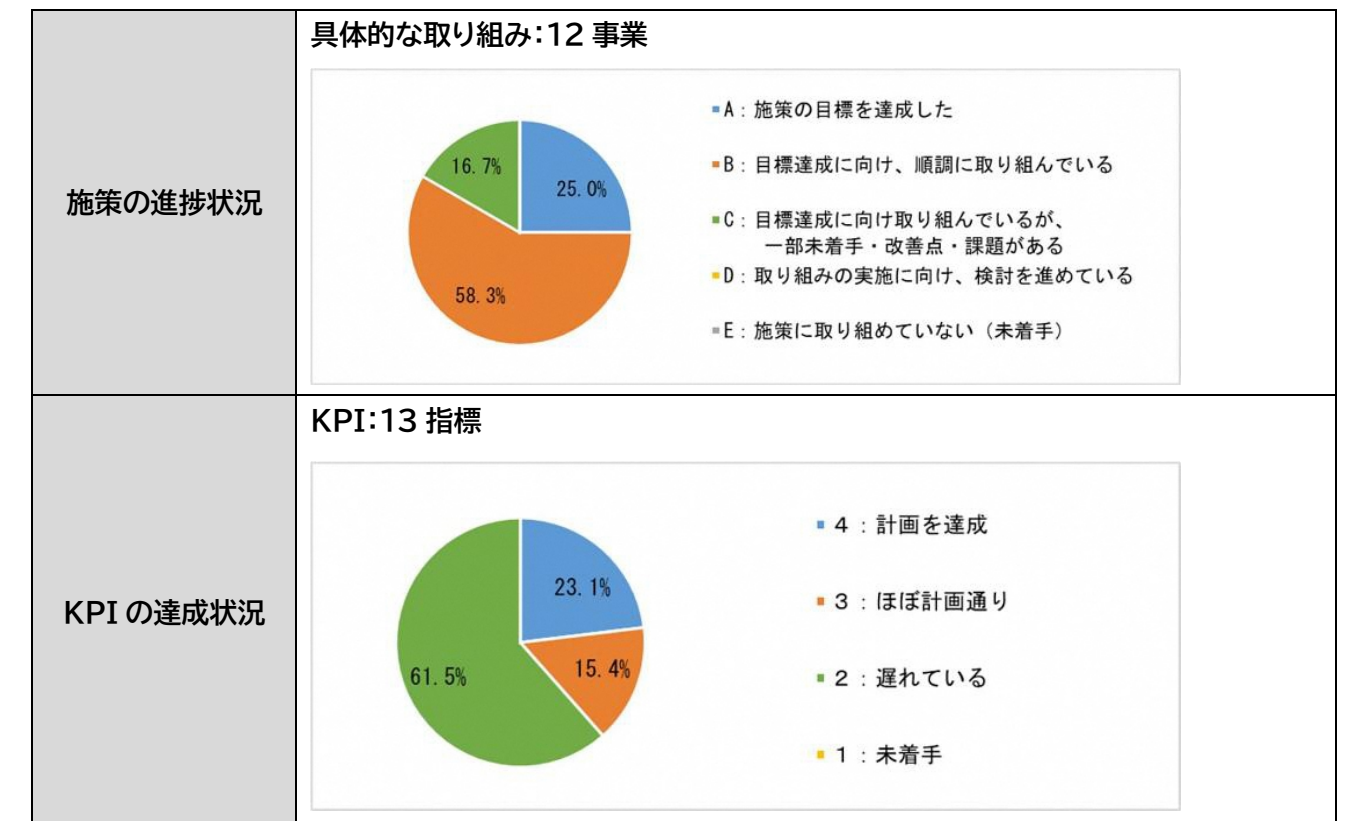
・総括

- ・R6 数値目標の達成に向けて、順調に取り組んでいる。
- ・具体的な取り組みは概ね順調に取り組んでいるが、保育士不足による事業縮小や子どもの居場所づくりに関する取り組みについて課題がある。
- ・一方で、KPI の達成状況が「遅れている」の項目が約 6 割となっている。特に基本的方向②健やかで切れ目のない子どもの成長支援の KPI の達成状況は、すべて「2」となっている。

⇒乳幼児期の保育の推進について、R4 年時点では、順調に待機児童が減少している。一方、保育ニーズに対する利用定員数が上回っている状況の中、保育士不足等により解消には至っていない実情があり、待機児童 0 人の実現に向けては、人材確保も重要な課題となっている。(進捗状況:B、KPI 達成度:3)

⇒切れ目のない子どもの成長支援について、新型コロナによる影響もあった中、両親学級や各種健診事業等に取り組んでいる。KPI については、新型コロナの影響で一時的に値が減少し、取り組みによりコロナ前の水準まで回復できたものの、KPI 達成には至らなかった。(進捗状況:A、KPI 達成度:2)

⇒子どもの貧困対策の推進については、4 中学校すべてにこども支援員の配置等を実施できたほか、子どもの居場所づくりを運営する団体が 7 団体まで増加するなど、順調に取り組んでいる。(進捗状況:A、KPI 達成度:4)



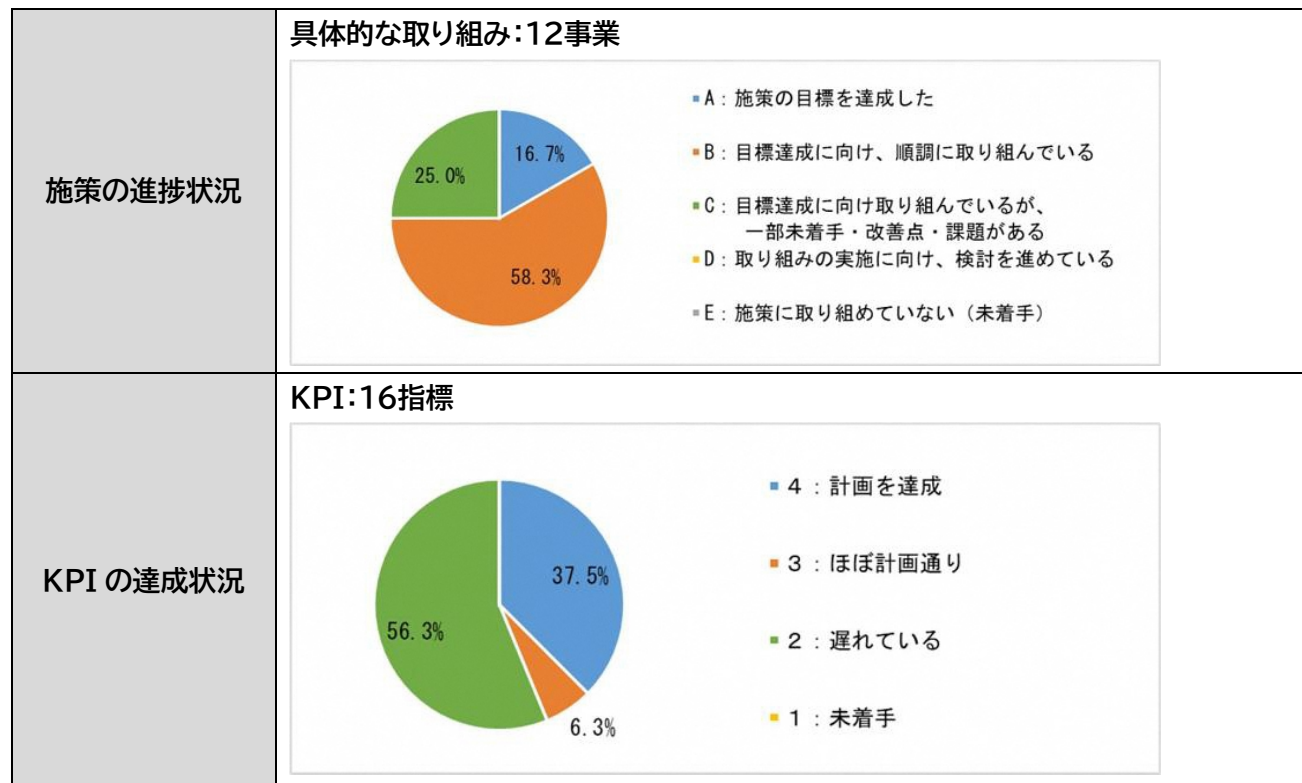
■基本目標④ 市民が健康で安心して住み続けられる、時代に合った都市をつくる

(R6 数値目標)健康寿命の延伸:健康寿命の増加分が平均寿命の増加分を上回ること
 ⇒達成度評価3(健康寿命の伸び:男性+1.23・女性+1.2、平均寿命の伸び:男性+1.03・女性+0.84)
 基本的方向①市民のための跡地利用の推進
 基本的方向②全ての市民が心身ともにいきいきと暮らせるまちづくり
 基本的方向③安全な都市のくらしをまもる
 基本的方向④次世代に誇れる持続発展可能な都市の形成
 基本的方向⑤男女がともに能力を発揮するための意識と環境づくり

・総括

・R6数値目標の達成に向けて順調に取り組んでいる。
 ・具体的な取り組みは概ね順調に取り組んでいるが、一部新型コロナの影響等で、環境保全に関する講習会や男女共同参画に関する講座等が実施できなかった。
 ・KPIの達成状況について、駐留軍用地の跡地利用や防災・防犯に関する項目は、計画通り進捗できているが、その他の項目では「遅れている」の項目が多くみられる。

⇒市民一人ひとりの生きがいづくりに関して、企画展や市民講座、体験教室など、計画した事業は概ね実施できているものの、新型コロナの影響によって図書館や博物館が臨時休館したことで利用者数が減少したため、KPI達成には至っていない。なお、新型コロナも落ち着いた令和4年度の利用者数は令和3年度より増加している。(進捗状況:B、KPI達成度:2)
 ⇒防災に関するKPIは6項目中5項目で計画を達成している。食料及び保存水の備蓄については、令和4年度の目標を達成できているものの、令和5年度に想定避難者数を見直したことに伴い、必要備蓄数が大幅に増加したため、今後も計画的に備蓄を進める必要がある。(進捗状況:C、KPI達成度:4)
 ⇒環境保全に関する取り組みについて、新型コロナの影響によりダンボールコンポスト講習会が開催できなかったことが、KPI未達の要因となっている。(進捗状況:C、KPI達成度:2)
 ⇒男女共同参画に関する取り組みについて、新型コロナの影響により講座等が開催できず、参加者数が減少したことが、KPI未達の要因となっている。(進捗状況:C、KPI達成度:2)



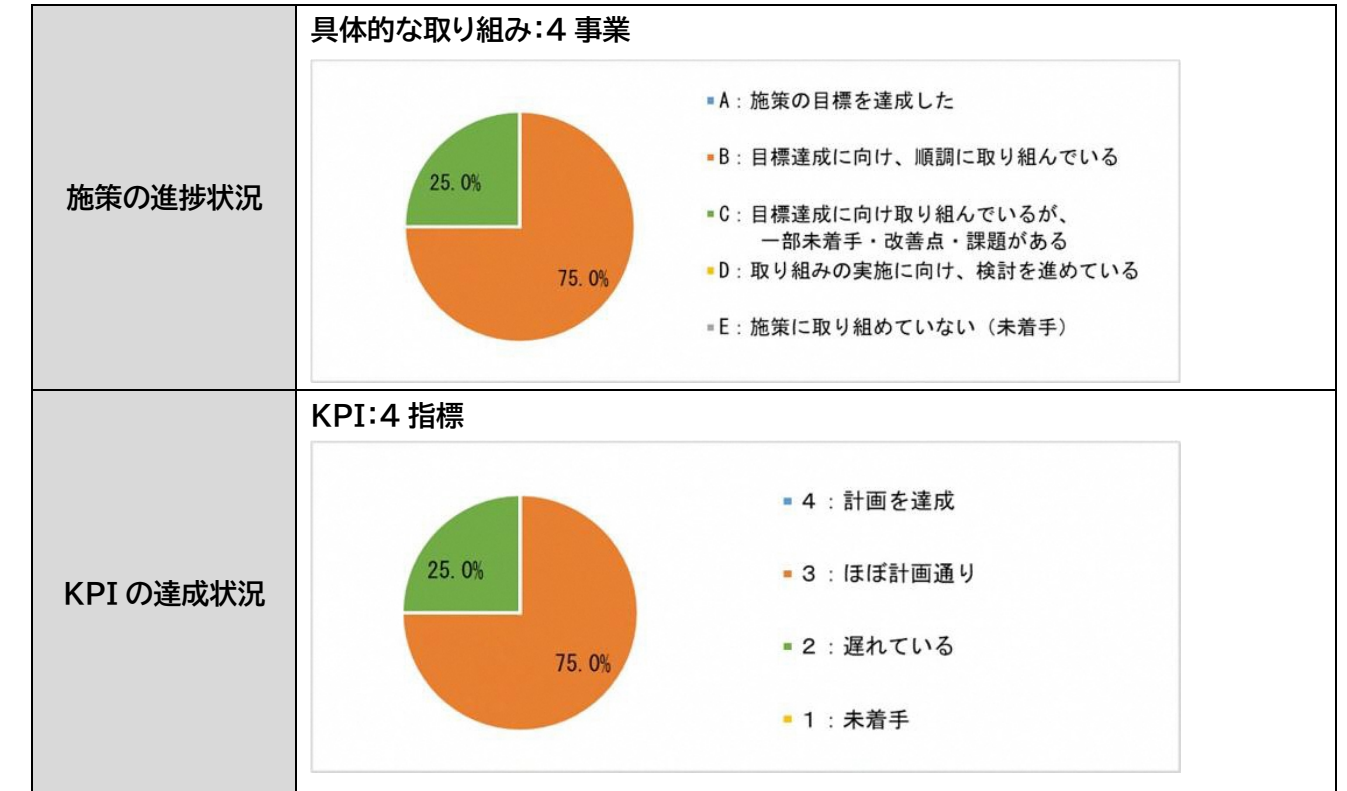
■横断的目標① 多様な人材の活躍を推進する・横断的目標② 新しい時代の流れを力とする

横断的目標①(R6 数値目標)地域リーダー等養成講座修了生(延べ人数):100人
 ⇒達成度評価3(R3:50人、R4:88人)
 基本的方向①多様なひとびとの活躍による地方創生の推進
 基本的方向②誰もが活躍する地域社会の推進
 横断的目標②(R6 数値目標)講演会、講座、研修、ワークショップ、交流会等の開催延べ件数:6回
 ⇒達成度評価3(R3:2回以上実施、R4:2回以上実施)
 基本的方向①地域におけるSociety5.0の推進
 基本的方向②地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり

・総括

・R6 数値目標の達成に向けて順調に取り組んでいる。
 ・具体的な取り組みについて、一部新型コロナの影響を受けた事業はあるものの、概ね順調に取り組んでいる。
 ・KPIの達成状況についても、新型コロナの影響を受けた事業を除き、計画通り進捗している。

⇒地域リーダー等養成講座の開催については、主に地域の課題や資源の発見をテーマとして、順調に取り組んでいる。令和4年度は琉球大学とも連携し、学生から社会人まで幅広い年代が参加した。今後は、地域活動の中心となる人物の育成を図ることを目的として事業を進める。(進捗状況:B、KPI達成度:3)
 ⇒市内の自動販売機に受信機と送信機を設置し、認知症の方の道迷いの早期発見を行うことについて、関係機関との連携は順調に進んだものの、機材の設置については、新型コロナの影響もあって活動を実施できなかったことが、KPI未達の要因となっている。令和5年度は、企業へのキャンペーンを実施予定で設置拡充を図る予定。(進捗状況:C、KPI達成度:2)



参考:宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度効果検証シート一覧

(施策の進捗状況の評価) 施策の目標を達成した・・・A 目標達成に向け、順調に取り組んでいる・・・B 目標達成に向け取り組んでいるが、一部未着手・改善点・課題がある・・・C 取り組みの実施に向け、検討を進めている・・・D 施策に取り組めていない(未着手)・・・E

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策の評価			担当者の所感及び評価	次年度以降に向けての見直し	主管課	総合計画
			具体的な取り組み内容	実施状況・達成できたこと	施策の評価※1				
①魅力ある人材と産業を育成し安定した雇用を創出する	①魅力ある人材育成モデルの確立	①企業が求める人材育成の推進や働きやすい職場環境づくりの促進	・教育機関と連携した就業意識の向上促進、高度な技術を有したIT人材の育成支援、企業の成長を担う人材の育成	・市内小中学校でキャリア教育支援(職業人講話、マナー講座、出前講座)を実施し、児童生徒の就業意識の向上を図った。	B	・コロナ禍もあり、保護者向けのキャリア教育支援の実施が出来なかったが、児童生徒の就業意識の肯定的変化は80%以上あり、効果を上げることができた。	・保護者向けのキャリア教育支援の実施が出来なかったため、実施に向けて取り組みを継続していく。	産業政策課	4-(5)
		②雇用の創出と就業支援の推進	・多様な働き方の促進、就職相談	・ふるさとハローワークでの就業支援を実施し、R3は487人、R4は547人の就業者となった。	B	・コロナ禍には相談者数は減少したが、システムが強化されてオンラインの活用等ができて、利便性が向上した。	・開設されて10年以上経過しているため、建物や設備の計画的な修繕等を実施していく必要がある。	産業政策課	
		③国際感覚豊かな人材の育成	・友好合作都市である中国廈門市の廈門理工学院へ留学生を派遣 ・市国際交流協会による語学講座の開催など	・これまで延べ18名の留学生を廈門理工学院へ派遣し国際的な視野を持つ人材を育成。 ・市国際交流協会による語学講座や各種イベントでの交流、文化財巡り等を通して国内外を理解できる人材を育成。	C	・若手を留学生として派遣するため、派遣後の就職や生活スタイルの変化により、本市とのつながりが薄れやすい。 ・活動拠点がなく、市外で語学講座を開催することもある。また交流イベントの参加者を増やす工夫も必要である。	・留学後の活躍の場の検討	市民協働課	1-(3)
	②人材が活躍できる産業の育成・充実	①地域の特性を活かした商店街づくりの促進	・宜野湾市ががんばる商店街活動支援事業	・ヒルズ通り会、COCOふていーま商店街、宜野湾いすのき通り会、Route58通り会が立上げられた。	B	・通り会の立上げに係るキーパーソン(中心人物)探し	・通り会相互の連携を図る	産業政策課	4-(3)
		②情報通信関連事業所への支援	・インキュベート支援及び企業育成	・宜野湾ベイサイド情報センターにおけるインキュベートブースを活用した起業、オフィスへ入居し、企業体力をつける。	B	・オフィスへの入居期間が原則5年となっているので、その後の受け皿が市内に不足している。	・インキュベート促進に向けて指定管理者と連携	産業政策課	
		③都市型農業・漁業の促進	・農業次世代人材投資事業により、新規就農者への支援を継続して実施。 ・田芋農家への支援を継続して実施。 ・燃油高騰の影響を受けている漁業者への補助事業を継続して実施。また、国の補助事業を活用し、漁礁の敷設及びシラヒゲウニの試験養殖に取り組んでいる漁業者への支援を行った。	・新規就農者及び田芋農家等への補助を行うことにより、営農活動の継続を支援できた。 ・漁業者への補助を行うことにより、漁業活動継続を支援できた。また、漁礁敷設による新たな漁場の形成やウニ養殖への取り組みを支援できた。	B	・本市は農地が少ないため、農家を志望する方が少ない。目標達成に向け、どのように農業をPRしていくかが課題。 ・燃油だけではなく、資材等の高騰も影響を受けている。状況に応じて、新たな補助事業の検討が必要。	・継続	産業政策課	4-(6)
		④中小企業等の活性化の促進及び産業の創出に向けた各種支援	・特定創業支援等事業	・指定の商工会、金融機関、創業支援団体による創業に関するセミナー等を受講し、ノウハウを取得したものに対し、認定創業支援等事業計画に基づき認定を行う。事業者は認定により税制優遇や保証の特例を受ける事が可能。	B	・コロナ禍で各種セミナーが中止されていた時期に創業認定も減少。	・アフターコロナにおいて効果的なセミナー開催及び周知・案内を図るため、各支援団体と連携を強化する必要がある。	産業政策課	4-(3)

R6数値目標の達成状況

KPIの達成状況

(KPI達成度評価) 計画を達成・・・4 ほぼ計画通り・・・3 遅れている・・・2 未着手・・・1

R6数値目標	現状値(R1)	実績値		目標値(R6)	評価	基本的方向	具体的施策	指標(KPI)	現状値(R1)	実績値		目標値(R6)	評価(KPI達成度)	基本施策ごとの達成度評価	基本目標における達成度評価
		R3	R4							R3	R4				
宜野湾市ふるさとハローワークを利用した市民の就職率	記載なし	7.8%	9.3%	毎年度の増加を目指す	3	①魅力ある人材育成モデルの確立	①企業が求める人材育成の推進や働きやすい職場環境づくりの促進	宜野湾市ふるさとハローワークにおける就職件数(件)	700件	487件	547件	800件	2	1.7	2.5
							②雇用の創出と就業支援の推進	就業体験受講者数(人)	3685人	1547人	1347人	4000人	2		
							③国際感覚豊かな人材の育成	中国廈門(アモイ)理工学院派遣留学生延べ人数	18人	18人	18人	22人	1		
②人材が活躍できる産業の育成・充実	記載なし	7.8%	9.3%	毎年度の増加を目指す	3	①地域の特性を活かした商店街づくりの促進	空き店舗家賃補助 採択延べ件数	18件	56件	77件	88件	3	2.9	2.9	
							空き店舗リフォーム補助 採択延べ件数	8件	25件	32件	33件	3			
							②情報通信関連事業所への支援	宜野湾ベイサイド情報センター(インキュベーションオフィス)での創業件数	0件	0件	0件	3件			1
								情報通信関連産業振興地域制度の活用事業所数	7事業所	6事業所	12事業所	10事業所			4
							③都市型農業・漁業の促進	新規就農者延べ人数	3人	7人	7人	11人			3
④中小企業等の活性化の促進及び産業の創出に向けた各種支援	ワンストップ相談窓口利用者の創業件数	33件	24件	24件	45件	2									
	産業高度化・事業革新促進地域、国際物流拠点産業集積地域制度の活用事業所数	8事業所	10事業所	17事業所	15事業所	4									

(施策の進捗状況の評価) 施策の目標を達成した・・・A 目標達成に向け、順調に取り組んでいる・・・B 目標達成に向け取り組んでいるが、一部未着手・改善点・課題がある・・・C 取り組みの実施に向け、検討を進めている・・・D 施策に取り組めていない(未着手)・・・E

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策の評価			担当者の所感及び評価		次年度以降に向けての見直し	主管課	総合計画
			具体的な取り組み内容	実施状況・達成できたこと	施策の評価※1	実施上の課題や今後の方針 (課題や達成できなかったこと)				
②観光・コンベンションを促進する 多様な人との出会いと交流	①地域資源を活かした観光・交流の促進 (屋外劇場の機能拡張、強化)	①観光情報の発信及び魅力ある地域資源の創出・活用	・HPやSNS等での観光情報の発信、多彩なイベント等の振興、民間活力を活かした観光資源の有効活用、西海岸エリアにおける各種団体・企業との連携体制の充実	・新型コロナの影響により、ほとんどのイベントが中止となった。	C	・感染症対策が緩和され、コロナ過以前以上のイベント開催が予想されるため、引き続き、イベントの実施、支援及び誘致を行っていく。	・イベント開催にあたり、海外からの観光客の増加も予想されるため、インバウンド対応も必要となっている。	観光スポーツ課	4-(1)	
		②宜野湾市西海岸地域音楽活性化推進事業の推進	・屋外劇場の機能拡張整備により、コンサート等の件数が増え、それに伴う本市への入域者数増加による経済効果・賑わいの創出に寄与する。	・屋外劇場は、機能拡張整備を行っており、完成までコンサートの開催については実施できない状況。	E	入札不調により、工事の着工が遅れており、関係機関等と調整を進め工事進捗を図る。	なし	観光スポーツ課	5-(8)	
		③普天間飛行場周辺まちづくり事業の推進	・普天間飛行場周辺まちづくり実施計画報告書に基づき事業を実施	・普天間地区、真栄原地区の用地買収・物件補償を実施し、両地区の用地買収の進捗率は50.6%、物件補償の進捗率は63.9%となった。	B	・補助元から事業費の削減を求められており、課題となっている。また、施設管理担当課において設置条例や管理条例を制定する必要がある。	・引き続き用地交渉物件補償等を実施し目標年度内に事業完了を目指す。	企画政策課	5-(5)	
	②スポーツコンベンションの振興による 交流機会の創出	①各種スポーツキャンプ・大会の誘致・受入態勢の強化	・スポーツイベント、大会実施に係る受入れ、調整業務を実施	・横浜DeNAベイスターズキャンプ前の時期において、ジャパンウィンターリーグを実施できた。	B	・コロナ後において、様々なイベントについて相談等がきている状況。 ・全ての受入れが組織体制的に厳しい状況。	・海浜公園内施設の工事により十分な受入れができない状況。関係課と連携し、老朽化した施設整備も含めて、運用方法について調整していく。	観光スポーツ課	4-(2)	
		②宜野湾海浜公園施設等における再編整備の推進	・宜野湾海浜公園等再編計画に基づき、再編工事を実施する。	・宜野湾海浜公園等再編計画に基づき、再編工事を実施しており、令和4年度までに2期工事を完了している。	B	・令和6年度に予定している4期工事に降の工事に係る実施設計を令和6年度に実施し、今後の再編工事計画を取りまとめる。	・他の事業との兼ね合いにより事業期間を延伸する必要がある。	施設管理課	5-(8)	

R6数値目標の達成状況

R6数値目標	現状値 (R1)	実績値		目標値 (R6)	評価
		R3	R4		
西海岸地域入域者数	226万人	1,000,254人	1,452,108人	250万人	2

KPIの達成状況

(KPI達成度評価) 計画を達成・・・4 ほぼ計画通り・・・3 遅れている・・・2 未着手・・・1

基本的方向	具体的施策	指標 (KPI)	現状値 (R1)	実績値		目標値 (R6)	評価 (KPI達成度)	基本施策ごとの達成度評価	基本目標における達成度評価
				R3	R4				
①地域資源を活かした観光・交流の促進	①観光情報の発信及び魅力ある地域資源の創出・活用	はごろも祭り来場者数	14.5万人	0人	0人	16万人	1	1.7	2.2
	②宜野湾市西海岸地域音楽活性化推進事業の推進(屋外劇場の機能拡張、強化)	宜野湾市屋外劇場の年間コンサート開催件数	4件	0件	0件	16件	1		
	③普天間飛行場周辺まちづくり事業の推進	普天間飛行場周辺まちづくり事業進捗率	14.5%	32.3%	37.1%	87%	3		
②スポーツコンベンションの振興による交流機会の創出	①各種スポーツキャンプ・大会の誘致・受入態勢の強化	スポーツキャンプ・大会開催による来場者数	21420人	10600人	29160人	26,000人	4	3.0	
	②宜野湾海浜公園施設等における再編整備の推進	宜野湾海浜公園施設の利用者数	812575人	235387人	392640人	895,000人	2		

(施策の進捗状況の評価) 施策の目標を達成した・・・A 目標達成に向け、順調に取り組んでいる・・・B 目標達成に向け取り組んでいるが、一部未着手・改善点・課題がある・・・C 取り組みの実施に向け、検討を進めている・・・D 施策に取り組めていない(未着手)・・・E

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策の評価			担当者の所感及び評価 実施上の課題や今後の方針 (課題や達成できなかったこと)	次年度以降に向けての見直し	主管課	総合計画
			具体的な取り組み内容	実施状況・達成できたこと	施策の評価※1				
③市民の希望実現に向け安心して結婚・出産・子育てができる環境を整える	①教育・保育と子育て支援の質の向上と安定的な供給	①乳幼児期の保育・教育の総合的な推進	・保育士確保事業、認定こども園への移行検討・支援、地域型保育事業の充実、地域子ども・子育て支援事業の実施。	・私立保育園の認定こども園移行を支援し、R3年度(1園)、R4年度(3園)が移行している。 ・公立幼稚園の認定こども園移行については、移行計画の具体的な内容を関係部署と連携協議し、令和5年度において基本計画を策定する。 ・地域子ども・子育て支援事業に位置付けられた事業を実施し、認定こども園移行により、さらに充実した環境を整えている。	B	・保育士不足等により待機児童の解消には至っていない。 ・地域ニーズを的確にとらえ、必要な受け皿の整備も検討を行う。	なし	こども政策課	2-(2)
			・延長保育事業、一時預かり事業、幼稚園における預かり保育事業、地域子育て支援拠点事業、病児保育事業	・概ね順調に事業実施できているが、保育士不足等により一部の事業が縮小した。	C	・保育士不足から法人が行っている一時預かり事業や子育て支援センターの事業が縮小した。	保育士確保の観点も重要になってくる	子育て支援課	
		②地域と連携した子どもの居場所づくり	・小学校区ごとに児童センターを整備、児童健全育成巡回事業「じゃんけんぼん」の継続実施、放課後児童健全育成事業の推進	・普天間小学校区では、「普天間飛行場周辺まちづくり事業」において、交流施設内に児童館を整備する予定がある。児童センターの利用が困難な地域では、自治会の公民館を利用し児童健全育成事業を行っている。 ・放課後児童クラブは、国及び県からの交付金を活用し健全な運営ができるよう事業の推進を行っている。	C	・児童センターの整備において、はごろも小学校区及び嘉数小学校区の整備が未定。 ・場所の選定が課題となっている。放課後児童クラブについては、地域のニーズや児童数の推移を考慮しながら、施設の配置等を行う。	なし	こども政策課	
			③教育環境の充実等による学力向上の推進及び支援体制の充実	・わかる授業の構築 ・外国語教育を含めた国際理解教育の充実 ・教職員の指導力の向上 ・キャリア教育の推進	・全国学力学習状況調査における全国平均との差(R4) 小学校-3.7pt、中学校-6.5pt ・児童英検正答率：小学校5年生87.9点 小学校6年生81.7点 ・「職業人講話・出前講座」、「マナー講習会・キャリア教育講演会」、「先輩から学ぶ会」を実施 ・小・中・高の学びをつなぐ「キャリアパスポート」の活用	B	・小、中学校における平均正答率の学校間差及び学級間差がある。 ・授業における基本事項への取組みについて学校間差があり、小学校においては学級間差、中学校においては教科間差があるため、間差を縮めそえる必要がある。 ・教育活動全体を通して「学ぶことと社会との接続」を意識した学習の見直しや、振り返りの手立てが不十分であった。	・小学校においては徐々に学力が全国水準を維持できるようになってきた。中学校においては徐々に全国水準へと近づけるようになってきた。 ・各学校において各種学力調査の結果分析を行い、児童生徒の実態に応じた授業改善が効果をあげてきている。 ・各教科・領域等及学校教育活動全体で、キャリア教育を視点とした計画を推進する。	指導課
		・教師のキャリアステージに応じた研修の実施、大学と連携した校内研修の充実、ICTを活用した授業力向上のための研修、教員の教育研究活動の推進、GIGAスクール構想に基づく児童生徒1人1台端末の導入等学校のICT化を推進		・各種研修等の実施による教員の指導力向上を図るほか、授業の効果的な展開に資するようICT機器(大型提示装置、児童生徒1人1台端末、デジタル教科書等)を導入し、運用促進を図った。	B	・引き続き学校及び関係各課との連携を図り、学力向上・支援体制の充実に取り組む。	なし	はごろも学習センター	
		②健やかで切れ目のない子どもの成長支援	①親と子の健康の確保に向けた取り組みの推進	・両親学級を継続して実施	・コロナ感染症拡大防止対策のため、人数を制限して実施。	A	・感染対策上、1回当りの受講者数の制限がでてる。	なし	健康増進課
	・妊娠届出時の全数面接。 ・各種健診、教室、来所相談の実施。 ・子育て世代包括支援センターでの継続支援。 ・地区保健師による継続支援。 ・妊産婦健診公費助成、新生児訪問、産後ケアの実施。 ・随時、来所、電話相談の実施。			・計画的実施	A	・職員や会計年度専門職の確保、場所の確保。	切れ目のない支援のため、子育てに関する窓口一本化の動きがあり次期計画上の記載は調整が必要と思われる。	健康増進課	2-(7)
	②障がい児・発達面で支援が必要な子等への支援の充実		・児童の発達に関する課題や保護者の子の障害の未受容、保護者自身の育児能力の欠如等について相談支援のなかで課題の整理と必要な支援策の展開。	・基幹相談支援センター並びに各中学校に配置した相談支援員(委託相談支援事業所含む)が関係部署と連携し支援を展開。	B	・年々増加並びに複雑化する相談に対応するため体制の強化が必要と思われる。	切れ目のない支援のため、子育てに関する窓口一本化の動きがあり次期計画上の記載は調整が必要と思われる。	障がい福祉課	2-(4)
			・特別支援学級担当者研修会の実施 ・特別支援教育支援員研修会実施(年2回) ・保育幼稚園教諭向けの教育支援説明会の実施 ・医療的ケア児受け入れ校情報交換会の実施(年3回) ・特別支援教育支援員派遣事業の実施	・特別支援学級担当者研修会の実施 ・特別支援教育支援員研修会実施(年2回) ・保育幼稚園教諭向けの教育支援説明会の実施 ・医療的ケア児受け入れ校情報交換会の実施(年3回) ・臨床心理士による学校訪問 ・特別支援教育支援員派遣事業の実施(幼小中に72名配置・指導課に臨床心理士2名配置)	B	・市特別支援教育コーディネーター連絡会の実施(年3回) ・配慮を要する幼児児童生徒の行動観察及び職員への助言の為に学校(園)訪問の充実 ・入学に向けた保護者向け教育支援説明会の実施	・学校訪問による行動観察を充実させ、特別支援教育支援員の適正な配置に努める。	指導課	3-(1)

(施策の進捗状況の評価) 施策の目標を達成した・・・A 目標達成に向け、順調に取り組んでいる・・・B 目標達成に向け取り組んでいるが、一部未着手・改善点・課題がある・・・C 取り組みの実施に向け、検討を進めている・・・D 施策に取り組めていない(未着手)・・・E

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策の評価			担当者の所感及び評価 実施上の課題や今後の方針 (課題や達成できなかったこと)	次年度以降に向けての見直し	主管課	総合計画
			具体的な取り組み内容	実施状況・達成できたこと	施策の評価※1				
③市民の希望実現に向け安心して結婚・出産・子育てができる環境を整える	③子育てしやすい社会環境の整備	①児童虐待防止に向けた対策の推進	・市内を4地区に分け、家庭相談員4名、主事3名、SV2名で虐待相談、通告に対応している。また、要対協の各種会議・部会を通じて個別のケース対応、児童虐待防止の普及啓発活動を行っている。	・児童虐待に関する相談は令和2年～4年は横ばいで推移しているが、児童に関する相談自体は増加傾向にあり日々対応に追われている。 ・児童虐待防止の普及啓発活動は毎年テーマを決め予定通り実施できている。	B	・児童虐待の相談自体は横ばいであるが、複雑な世帯などの困難ケースは増加しており、各関係機関との連携の重要性が増しているように感じる。	なし	児童家庭課	2-(2) 2-(3)
		②ひとり親家庭への自立支援	・自立支援教育訓練給付金事業、高等職業訓練促進給付金等事業、母子・父子自立支援プログラム策定事業、ひとり親家庭子どもの生活・学習支援事業等を実施。 ・日常生活支援事業(ヘルパー派遣事業)の利用促進。	・自立支援教育訓練給付金事業 令和4年度利用実績2人 ・高等職業訓練促進給付金 令和4年度利用実績17人 ・母子・父子自立支援プログラム策定事業 令和4年度利用実績 14人 ・ひとり親家庭子どもの生活・学習支援事業の実施 令和4年度参加延児童数 590人 ・日常生活支援事業(ヘルパー派遣事業)の利用促進 令和4年度申請受付25人	B	・事業は順調に進められている。これまで同様事業の周知に取り組んでいく。	なし	児童家庭課	2-(2)
		③子どもの貧困対策の推進	・子どもの貧困対策支援員;こども支援員を配置し、学校や子どもの居場所を訪問し気になる子を福祉サービスへつなぐ。各種制度の手続き支援、青少年自立支援も行う。 ・子どもの居場所の運営支援事業;ボランティア団体が運営する子どもの居場所に対し補助金を支出し運営を支援。 ・居場所の連絡会運営事業;個々の居場所の取り組みやノウハウの共有、居場所同士や地域とのネットワークを形成する目的で連絡会を設置。	・こども支援員を4中学校区に1名ずつ配置を継続。また、就学援助をはじめとした手続の個別支援や、進路未定の青少年等に対する就労体験等の自立支援「出前こどもの居場所」も4中学校でそれぞれ支援することができた。児童家庭課へも未就学児担当として2名を配置。 ・子どもの居場所補助金交付団体が7か所まで増加し、KPI達成することができた。自主運営団体も増加しており子どもの居場所活動が活発化してきている。 ・居場所の連絡会を開催し、居場所同士の交流を図り、ネットワークを構築することができた。	A	・地域で活動する子どもの居場所が増え充足してきていると考える。 ・立ち上げたばかりの団体が多いため、今後は、各団体の居場所活動の充実に向けて運営支援に力を入れていきたい。	・通常の居場所に対応が難しい課題のある子ども達に対応する居場所として、拠点型子どもの居場所の委託運営を進めていく。	福祉総務課	2-(6)

R6数値目標の達成状況

KPIの達成状況

(KPI達成度評価) 計画を達成・・・4 ほぼ計画通り・・・3 遅れている・・・2 未着手・・・1

R6数値目標	現状値(R1)	実績値		目標値(R6)	評価
		R3	R4		
保育施設の待機児童数	71人	35人	33人	0人	3
放課後児童クラブの待機児童数	80人	45人	26人	0人	3

基本的方向	具体的施策	指標(KPI)	現状値(R1)	実績値		目標値(R6)	評価(KPI達成度)	基本施策ごとの達成度評価	基本目標における達成度評価
				R3	R4				
①教育・保育と子育て支援の質の向上と安定的な供給	①乳幼児期の保育・教育の総合的な推進	保育施設の待機児童数	71人	35人	33人	0人	3	2.7	2.6
	②地域と連携した子どもの居場所づくり	放課後児童クラブの待機児童数	80人	45人	26人	0人	3		
	③教育環境の充実等による学力向上の推進及び支援体制の充実	学習支援員配置等による全国学力・学習状況調査(小学校・算数)正答率の全国との差	1.4ポイント	-1.3ポイント	-4.2ポイント	+3ポイント	2		
		学習支援員配置等による全国学力・学習状況調査(中学校・数学)正答率の全国との差	-8.8ポイント	-7.5ポイント	-10.4ポイント	-5ポイント	2		
		ALT・JTE配置等による「英語が好き」な児童(小5・6)の割合	82%	80%	78.5%	85%	2		
	ALT配置等による「英語が好き」な生徒(中3)の割合	57.2%	60.4%	実施なし	65%	4			
②健やかで切れ目のない子どもの成長支援	①親と子の健康の確保に向けた取り組みの推進	3歳児健康診査受診率	86%	79%	87%	90%	2	2.0	2.6
		おたふくかぜ予防接種率	89.7%	79.18%	84.9%	90%	2		
	②障がい児・発達面で支援が必要な子等への支援の充実	放課後等デイサービス利用者人数	430人	545人	584人	752人	2		
		特別支援教育支援員派遣事業に対する満足度(満足度調査)	93%	93.5%	86.8%	95%	2		
③子育てしやすい社会環境の整備	①児童虐待防止に向けた対策の推進	児童福祉支援者研修会及び講演会参加者の満足度	89.2%	70%	75%	90%	2	3.3	2.6
	②ひとり親家庭への自立支援	高等職業訓練促進給付金を受給して資格を取得した者に占める就職者の割合	87.5%	100%	100%	90%	4		
	③子どもの貧困対策の推進	子どもの居場所運営支援箇所数	7か所	5か所	7か所	7か所	4		

(施策の進捗状況の評価) 施策の目標を達成した・・・A 目標達成に向け、順調に取り組んでいる・・・B 目標達成に向け取り組んでいるが、一部未着手・改善点・課題がある・・・C 取り組みの実施に向け、検討を進めている・・・D 施策に取り組めていない(未着手)・・・E

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策の評価			担当者の所感及び評価	次年度以降に向けての見直し	主管課	総合計画
			具体的な取り組み内容	実施状況・達成できたこと	施策の評価※1				
④市民が健康で安心して住み続けられる、時代に合った都市をつくる	①市民のための跡地利用の推進	①駐留軍用地の跡地利用の推進	・「全体計画中間取りまとめ(第2回)」の作成、本計画内容の具体化に向けた取組み	・「全体計画中間取りまとめ(第2回)」は令和4年7月実施・達成。 ・本計画内容の具体化に向けた取組みを進めている。	B	・特になし	・特になし	まち未来課	6-(2)
			・西普天間住宅地区跡地における琉球大学と連携した沖縄健康医療拠点の形成	・令和6年度末の琉球大学医学部及び大学院の移設完了へ向け順調に取り組んでいる。	B	・特になし	・特になし	基地跡地推進課	
	②全ての市民が心身ともにいきいきと暮らせるまちづくり	①いきいきとした“ひと”を育む健康づくりの推進	・美らがんじゅう体操の普及活動、各種健康教室の充実	【R4年度】 ①美らがんじゅう体操の普及：292回(延5,823人) ②各種健康教室 フィットネス教室：24回(延288人) 出前講座：24回(336人) HELIMAS教室：10回(延79人)	B	・働き盛り世代の参加が少ない		健康増進課	2-(7)
			②いきいきとした“ひと”を育む学びの推進	①市民が利用しやすい図書館機能の充実 ②他部署と連携した図書館サービスの充実	①ステーション3カ所の再配置により巡回時の安全性と利便性、さらに利用者の増を図った。 ②本を通し親子のコミュニケーションと絆を深めることを目的に、健康増進課と連携して、ブックスタート事業を実施し、赤ちゃんに絵本を提供した。	B	・博物館、図書館との連携に伴う、図書資料の一元管理による有効活用。	・移動図書館新規車両購入に伴い、西海岸地域の巡回先の新設と現ステーションの見直しを行う必要がある。	市民図書館
	③安全な都市のくらしをまもる	①防災体制の充実と危機対応力の強化	・企画展、市民講座、児童対象の体験教室の開催。 ・森川公園の自然環境を活かした市民講座と体験教室の実施。 ・市内の小学3年生から中学生を対象にした「ぎのわんの文化財図画作品展」の実施。 ・令和3年度には、博物館施設整備事業において、企画展示室に壁面展示ケースの設置工事を実施。 ・令和4年5月より、研究室の一般への貸室を開始。	・新型コロナウイルスの影響により、利用者数は目標値に届かなかったものの、計画した事業は概ね実施し、利用者数も増加している。	B	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、臨時休館を余儀なくされるなど、企画展や市民講座の開催方法の検討を行った。なお、令和4年度からはコロナ禍も落ち着きつつあり、利用者数も前年度より増加してきたため、今後はコロナウイルスの状況に注意しながら、徐々にコロナ禍以前の状態に戻すような取り組みを進める。 ・また、貸室については、周知や利用者の増加を図りつつ、将来的には利用団体から講座や教室等の講師を依頼するなど、人材発掘と活用を図りたい。			市立博物館
			・消防団の充実強化、応急手当の普及啓発、消防施設等の整備強化	・消防施設の整備強化についてはR5現在、5台で計画通り。 ・消防団の充実強化については、R3に定数増を図った。令和5年9月現在34名となっている。 ・応急手当普及啓発については、令和5年に関しては、目標値のKPI:2140を上回るペースで受講者数が増えている。	B	・車両更新計画に基づき整備を図っていくが、財源(補助金)の確保は必要である。 ・消防団に関して、若い世代の団員不足、団員の早期離脱と課題が多い。新たなPR方法や離脱させないような取り組みが必要。 ・応急手当普及については、新型コロナの5類移行後、順調に受講者数が増加している。これを継続していく体制の構築が必要と考える。		・次年度以降も引き続き継続していきたい。	消防本部警防課
			・地域防災計画の推進、自主防災組織の育成強化	・宜野湾市地域防災計画(R4.3)を見直し、台風時等の災害対応に当たっている。 ・23自治会すべてで自主防災組織が結成された。	C	・食料、保存水の備蓄については、想定避難者数を増大させたため、継続的な備蓄が必要。	・宜野湾市備蓄計画に基づき、計画的な備蓄と、要配慮者に対応した物資を購入する。	防災危機管理室	5-(1)
	④次世代に誇れる持続発展可能な都市の形成	①環境保全と循環型社会の構築	・住宅用火災警報器の設置・維持管理の各種広報及び設置取付支援の実施 ・事業所等の防火管理体制強化に向けた各種取り組みの実施(防火管理講習会の拡充、防火管理者選任マニュアルの作成、未把握事業所等の調査及び立入検査の実施、防火管理各種手続きの電子申請受付開始)	・目標値である住宅用火災警報器条約適合率62%を達成 ・事業所等の防火管理者選任率は令和元年度の57.8%から令和4年度63.8%に上昇した。	A	・住宅用火災警報器の設置率について目標値は達成したものの、依然として全国平均値以下であるため、より効果的な施策を講じる必要がある。 ・防火管理者選任率は毎年上昇しているが、未把握になっている事業所等も多く存在しているため、これら事業所等に対する選任率を向上させていく必要がある。	・住宅用火災警報器の設置率については、約10年横ばいとなっており、設置率向上が見られないことから、これまでの広報及び設置取付支援に加え、戸別住宅訪問等の実施を検討していく。	消防本部予防課	
			・ごみの排出抑制と資源化の推進、「ごみの分け方・出し方(ごみ分別)」の周知、環境教育の推進。	・夏休み環境学習会を実施。 ・小学校3校の5年生を対象に、環境教育の出前講座を実施。	C	・開催回数を増やす、もしくは、開催時の対象者を増やすための手法の検討が必要。同時に開催時における庁内、関係団体への周知方法も検討が必要。 ・コロナ禍により段ボールコンポスト講習会が開催できなかった。	・開催回数、開催時の対象者の人数制限の見直しを検討	環境対策課	5-(3)
			・両親学級の実施	・年間9回実施予定だったが希望者が多数おり、2回追加して11回実施した。令和4年度父親の参加率は、74.1%	A			健康増進課	
⑤男女がともに能力を発揮するための意識と環境づくり	①家庭・地域・職場等における男女共同参画の推進	・市報やホームページへの掲載、パネル展やイベントの実施等で啓発を図っている。 ・はごろもぶらんに紐づいた具体的施策の推進については、所管課へ依頼。効果的な推進の為に、年1回の進捗報告・評価点検を実施し、審議会へ報告。年度ごとの重点施策の提言をいただく形で推進への取り組みを継続している。	・令和4年度はフォーラム未実施。(コロナ前までは毎年開催されていた。令和5年度は6月に開催済み。)	C	・はごろもぶらんに紐づいた施策推進を、庁内の所管課へ依頼している。年に1回の進捗報告や審議会による点検評価から、庁内の機運醸成の課題があがった。	・所管課との連携不足があることから、体制強化と効果的な施策推進を検討したい。	市民協働課	1-(2)	
		②女性の能力発揮促進と人材育成	・市民向け講座の開催や、国内・外研修派遣事業の実施。 ・就労に向けたスキルアップ支援については、各所管各にて実施。	・令和4年度は、ふくふく講座の開催、海外セミナーはコロナで中止。県外研修はオンライン開催。	B	・国内・外研修は、学んだ知識や情報を市民へ還元できるよう、派遣後の報告会等を開催する。	・毎年派遣できるよう、事業周知を図る。	市民協働課	

R6数値目標の達成状況

R6数値目標	現状値 (H27※)	実績値		目標値 (R6)	評価
		R2※	推移		
健康寿命の延伸	【健康寿命】 男性:78.7 女性:83.68	男性:79.93 女性:84.88	男性:+1.23 女性:+1.2	健康寿命の増加分が平均寿命の増加分を上回る事	3
	【平均寿命】 男性:80.64 女性:88.18	男性:81.67 女性:89.02	男性:+1.03 女性:+0.84		

※5年に1度沖縄県より公表される値であるため、公表されているH27とR2の比較により評価。

KPIの達成状況

(KPI達成度評価) 計画を達成・・・4 ほぼ計画通り・・・3 遅れている・・・2 未着手・・・1

基本的方向	具体的施策	指標 (KPI)	現状値 (R1)	実績値		目標値 (R6)	評価 (KPI達成度)	基本施策ごとの達成度評価	基本目標における達成度評価
				R3	R4				
①市民のための跡地利用の推進	①駐留軍用地の跡地利用の推進	普天間飛行場跡地利用計画の策定進捗状況	配置方針及び配置方針図の更新案作成0	委員会案作成	第2回策定	第2回中間取りまとめ作成	3	3.0	2.8
②全ての市民が心身ともにいきいきと暮らせるまちづくり	①いきいきとした“ひと”を育む健康づくりの推進	運動習慣者の割合	男性 34.2%	32.5%	27.8%	男性 45%	2	2.0	
			女性 29.8%	31.6%	29.5%	女性 40%	2		
③安全な都市のくらしをまもる	①防災体制の充実と危機対応力の強化	市民図書館利用者数	171776人	95353人	126937人	185,841人	2	3.7	
		市立博物館利用者数	34743人	10973人	19319人	34,743人	2		
		食糧の備蓄	27000食	24050食	5400食	27,639食	4		
		保存水の備蓄	2136L	2208L	552L	27,639L	4		
		自主防災組織の設立数	12団体	23団体	-	23団体	4		
		住宅用火災警報器設置条例適合率の上昇	60%	64%	65%(R5)	62%	4		
④次世代に誇れる持続発展可能な都市の形成	①環境保全と循環型社会の構築	消防車両等の整備更新(延べ台数)	1台	2台	2台	3 (延べ台数9台)	4	2.0	
		普通救命講習等受講者数	2037人	312人	1486人	2,140人	2		
		環境教育講習会の実施	13回	15回	16回	25回	2		
⑤男女がともに能力を発揮するための意識と環境づくり	①家庭・地域・職場等における男女共同参画の推進	家庭ごみの排出量	522.8g/人日	580g/人日	549g/人日	462g/人日	2	2.7	
		両親学級(ここのとり倶楽部)への父親の参加率	43.6%	62.3%	74.10%	45%	4		
		男女共同参画に関する講座への参加者数	440人	192人	201人	800人	2		
	②女性の能力発揮促進と人材育成	市の附属機関として設置されている審議会等の委員に占める女性の割合	35.5%	31.6%	32.30%	40%~60%	2		

(施策の進捗状況の評価) 施策の目標を達成した・・・A 目標達成に向け、順調に取り組んでいる・・・B 目標達成に向け取り組んでいるが、一部未着手・改善点・課題がある・・・C 取り組みの実施に向け、検討を進めている・・・D 施策に取り組めていない(未着手)・・・E

横断的な目標	基本的方向	具体的施策	施策の評価			担当者の所感及び評価 実施上の課題や今後の方針 (課題や達成できなかったこと)	次年度以降に向けての見直し	主管課	総合計画
			具体的な取り組み内容	実施状況・達成できたこと	施策の評価※1				
① 多様な人材の活躍を推進する	① 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進	① 地域リーダー等養成講座の開催	・フィールドワーク、講座の実施等により、地域の課題や資源を発見し、地域課題解決や地域活性化について考える。	・令和3年度は市全域を対象に、講座等を実施し、延べ121名が受講した。令和4年度は未実施。	B	・令和4年度「地域コーディネーター養成講座」は、琉球大学と連携して実施している「学生がデザインするまちづくり」を実施したことにより、事業の効果を高めるため事業を行わないこととした。	・事業内容を刷新し、自治会、小学校区等の地域を対象に、地域活動の中心となる人物の育成を図る「地域リーダー等養成講座」を実施する。	市民協働課	1-(1)
	② 誰もが活躍する地域社会の推進	① 地域づくり推進事業基金助成金活用による民間団体への支援	・主体的に地域づくりを行う市民団体等を育成・支援することを目的に、事業に必要な経費(上限50万円)を助成する。助成金の対象となる事業は人材育成、地域文化振興、まちづくり事業など、市内で行う地域づくり事業が対象事業となる。	・令和3年度4件、令和4年度4件に助成を行った。各団体においては、コロナ禍による影響を受けたもの、おむね計画通りに事業を実施し、地域住民間の交流、人材育成等に取り組んだ。	B	・事業の応募数を増やすため、周知に注力していきたい。	・地域リーダー等養成講座、ICTを活用した地域課題解決を学ぶ講座等の参加者に事業を周知するほか、自治会、社協等の関係団体への周知を行う。	市民協働課	1-(1)
② 新しい時代の流れを力にする	① 地域におけるSociety5.0の推進	① 市内の自動販売機に受信機と送信機を整備し、認知症の方の道迷いの早期発見を行う。	・本事業は初めての取組であるため、ハード、ソフト両面において、合同会社トキニライドと企画、運営を協働で実施している。	・令和3年12月から検索システムを本稼働することができた。 ・令和2年度～令和4年度までの受信機購入数は計245機。そのうち設置数は34機。捜索用のタグは累計11人の方へ配布している。	C	・システムの運用やマニュアル、関係機関との連携は順調に進んだ。一方コロナ禍の影響もあり、受信機の設置数が34機に留まっているため、企業・市民への周知を強化し、設置拡充に向け取り組んでいく。	・令和5年度は受信機設置拡充に向け、企業へのキャンペーンを実施予定。また、広域化に参加する市町村とは事業化へ向け具体的に進めていく。	介護長寿課	2-(5)
	② 地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり	① 講演会等をおとして市民等へSDGsの広報活動を行い、認知度向上を図る。	・SDGsの実現につながる講演会、講座、研修、ワークショップ等を実施する。	・関連各課、特に市民協働課においては、男女共同参画に関する講演会、DVの防止や多様性に関する研修などを開催し、SDGsの実現につながる取り組みができた。	C	・講座や研修などは実施しているものの、SDGsの広報や認知度を向上させるという面からは不十分であったと考える。	・SDGsを浸透させることは非常に重要であるが、SDGsの考え方は総合計画の各施策のほぼ全てにまたがっているため、具体的施策ではなく、計画全体に共通する基本的な考え方として総論部分でまとめて記載することを検討したい。	企画政策課 市民協働課	1-(1)

R6数値目標の達成状況

KPIの達成状況

(KPI達成度評価) 計画を達成・・・4 ほぼ計画通り・・・3 遅れている・・・2 未着手・・・1

R6数値目標	現状値 (R1)	実績値		目標値 (R6)	評価
		R3	R4		
地域リーダー等養成講座修了生(延べ人数)	28人	50	88	100人	3
講演会、講座、研修、ワークショップ、交流会等の開催延べ件数	1回	2回以上	2回以上	6回	3

基本的方向	具体的施策	指標 (KPI)	現状値 (R1)	実績値		目標値 (R6)	評価 (KPI達成度)	基本施策ごとの達成度評価	基本目標における達成度評価
				R3	R4				
① 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進	① 地域リーダー等養成講座の開催	地域リーダー等養成講座修了生(延べ人数)	28人	50人	88人	100人	3	3.0	3.0
② 誰もが活躍する地域社会の推進	① 地域づくり推進事業基金助成金活用による民間団体への支援	地域づくり推進事業団体数	4団体	8団体	12団体	20団体	3		
① 地域におけるSociety5.0の推進	① 市内の自動販売機に受信機と送信機を整備し、認知症の方の道迷いの早期発見を行う。	見守り自動販売機の設置	0機	30機	34機	400機	2	2.5	2.5
② 地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり	① 講演会等をおとして市民等へSDGsの広報活動を行い、認知度向上を図る。	講演会、講座、研修、ワークショップ、交流会等の開催延べ件数	1件	2回以上	2回以上	6件	3		